

商工会議所青年部
全国サッカー大会規約

YEG サッカー協会

YEG サッカー協会(YEG Football Association 略:YFA)とは？

前身である監事 YEG から、新たに組織・運営・規約等の整備をするため、設立されたものである。大会設営・運営面での質の向上、公平性・平等性の確保を図るため、活動するものとする。

現在、古賀 YEG・さいたま YEG・静岡 YEG・日立 YEG・藤枝 YEG の5単会で構成する。(※第 14 回長井大会キャプテン会議に於いて決定)

理事は、1 単会 2 名選出による 10 名とし、この 10 名をもって理事会を構成する。

理事会は、理事の中から、協会を代表する会長を1名選任するほか、副会長を4名選任することができる。会長(代表理事)は1年毎の持ち回りで行い、特別な事情がない限り古河→日立→さいたま→静岡→藤枝の順とする。

副会長は会長輩出単会以外の 4 単会から選出し、初年度は日立・さいたま・静岡・藤枝となる。

基本の打合わせは Facebook 上の YEG サッカー協会グループにて執り行う。
緊急を要する打合わせ事項があった場合、必要があれば、招集することもできる。

<役割>

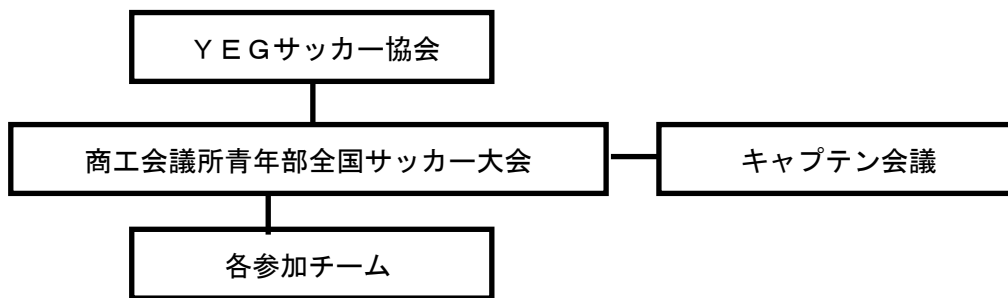
全国サッカー大会の規約作成や運営に関する全般に対してアドバイスをする機関 である。

- ・大会規約作成および運営のアドバイス
- ・代表者会議、キャプテン会議運営
- ・参加チームの管理
- ・次々年度開催地のプレゼン資料確認
- ・今年度と次年度開催地への引継ぎ業務手伝い

<趣旨>

商工会議所青年部全国サッカー大会は、日本商工会議所青年部の公式な事業に 属さず、あくまでも各単会 YEG 由来のサッカー同好会またはそれに準ずるチームによるサッカーを通じた全国の商工会議所青年部メンバー交流のための大会である。大会の設営・運営に関しては YEG サッカー協会、過去 1 大会開催 YEG により会議体組織を構成し、公平かつ平等に大会かが設営されるように開催地 と共に運営する。

大会組織図



<参加申し込みについて>

大会申し込みは、単会または県青連等の連合チームで申し込むものとする。ただし、申し込みが上限を超えた場合は、**単会チームを優先**とする。あくまで上限を超えた場合の措置であって、県青連等の連合チームが参加できないわけではない。

<各種会議について>

○代表者会議(開催日前日)

試合開催前日に開催し、参加チームから2名以上の参加を**必須**とする。同一単会で複数チーム参加の場合は、きちんと内容の報告を伝えていただく前提で合計2名以上とする。特別な事情を除き、もし参加できなかった場合は、予選リーグに参加はできるが、結果に関係なく決勝トーナメントの参加資格を失う。

1. 大会前の事前確認および注意事項案内
2. 開会式
3. 次々年度開催地プレゼンテーション

○キャプテン会議(1日目)

大会1日目競技終了後に開催し、参加チームの代表2名で参加することとする。

1日目に起きた問題点やケガ人の報告、決勝トーナメント抽選会、次々年度開催地決定に関する投開票を執り行なう。次々年度開催地決定方法は、各チーム1票の投票権を持ち、全チームで投票を行う。代表者会議同様、参加は**必須**とし、もし参加できなかった場合は決勝トーナメント進出が確定しているチームもその権利を失う。但しカテゴリーを分けるなど大会形式によっては、次点チームの繰り上げも可能とする。

1. 1日目の大会運営について(トラブル等の報告)
2. 大会でのケガ人報告及び処置経過
3. 決勝トーナメント組合せ抽選
4. 次々年度開催地決定に関する投開票
5. 質疑応答

○開催地大会実行委員会

開催地YEG内に設置。構成委員は実行委員会の裁量で選任。実質的な大会運営を担当し、公平かつ平等に全国 YEG メンバーがサッカーを通して交流が出来る設備・施設を担保する責任を負う。

YEGサッカー協会と連絡を密にし、大会の設営・運営面での進捗状況を報告する。

<開催地募集について>

○開催地の募集

今年度大会から次年度大会へ引継ぎが行われた時から、次々々回の大会開催地募集を行なうことができる。(受付期間は、次年度大会側で決定し、YEGサッカー協会へ報告することで決定する。受付先は、次年度大会開催地YEGとし、申し込みがあった際には協会へ連絡することとする。)

○プレゼンテーション資料の提出

申し込んだ単会は、当年度大会におけるプレゼンテーション日の1ヶ月前までにYEGサッカー協会に提出すること。なお、以下の項目は必須項目とする。

1. 大会開催予定日
2. グラウンド面数および予定グラウンド数
3. 協力体制地元サッカー協会との協力体制
4. 懇親会場 会場の収容人数
5. 宿泊可能な宿数および延人数
6. 費用 チーム登録料・個人登録料・前泊者懇親会費・その他費用
7. 収支予算書
8. 大会会長および実行委員長予定者名
9. 実行委員会組織図
10. 後援および協力団体
11. 立候補単会の過去の参加大会および成績

○開催地の決定方法

1. 立候補YEGが単独の場合は、協会内で確認し、自動的に承認とする。
2. 複数の場合は、協会内で資料を確認し、代表者会議でプレゼンテーションを行う。プレゼンの時間は開催地実行委員会にて定める。時間をオーバーした場合はそこで打ち切りとする。プレゼンテーション資料の配布は、一切禁止とする。
3. YFAは、キャプテン会議で各チーム1票の投票を行ない、次年度開催地代表者立会のもと開票作業を行い、その後に結果を発表する。なお、キャプテン会議に10分以上遅刻してきたチームは投票の権利を放棄したとみなす。
4. 開票は、立候補チーム立会の下、開票を行う。
5. 得票数が同じ場合は、該当チーム同士の抽選で決定する。
6. 3チーム以上の立候補があり、得票数が過半数以下の場合でも、最多得票チームが次々年度の開催地に決定する。

○開催地立候補の条件

1. 単会チームで過去1大会以上参加をしていること
2. 大会として32チーム以上の参加チームを受け入れが可能
3. 単会等役員会において承認を得ていること
4. 日本YEGとのスケジュール連携を取ること
5. 地元サッカー協会の協力を得ること

<目安>

参加人数	約 900 人(45 チームの場合)
設営人数	伸べ 200 名
グラウンド数	1日目・8 面程度、2日目 5 面(芝が望ましい)
宿泊者数	推定約 500 名
懇親会会場	約 500 名程度集客可能な会場
審判	予選→主審(有資格者)副審(有資格者が望ましい) トーナメント→有資格者
救急対応	救急看護(看護師・整体士・外科医等) 各会場1名以上

※ 但し、この指標はあくまで目安であり、立候補 YEG すべてに於いて条件を満たさない場合はこの限りではない。

<大会公式ホームページについて>

現在使用しているホームページを活用し、当該年度開催YEGにより管理、運営をする。過去大会のデータベースの共有化、情報発信もとの一元化、経費の効率化を目的とする。当該ホームページにて、規約等々を公開する。サーバー管理等の費用については、開催年の1年間を開催地が負担する。

大会ホームページ <http://yeg-football.jp/>

商工会議所青年部全国サッカー大会ランキング作成について、過去3大会をベースにランキングを作成し、参加チームのモチベーションアップや予選抽選時の指針として役立てる。ランキングは上位カテゴリーのみとしフレンドリーについてはランキングを作成しない。

■ 競技場について

◇ 競技場付帯設備

競技場には、次の付帯設備を備えるものとする。

1. 競技場本部(各会場)
2. 応急処置施設
3. 給水所

◇ ベンチとテクニカルエリア

1. ハーフラインを中心として対称に2チーム分設ける。ベンチについては、椅子を設置するようになるが、椅子が無い場合には、ベンチの枠線のみとする。
2. ベンチの前のテクニカルエリアは設けない。
3. ベンチの選択は、各チームに一任する。
4. ベンチ内ではユニフォーム及び同系色は着用しない。

◇ 応急処置施設

1. 競技場には、応急処置施設を設置する。応急処置施設には、少なくとも看護師を1人以上待機させる。
2. 負傷者の搬送用車両を1台以上準備する。
3. 事前に会場近隣の指定病院を選定し、負傷者が発生した場合、速やかに対処ができる体制を整える。
4. 緊急対応マニュアルを作成する。

■試合について

◇大会形式

試合日程は2日間とする。1日目は、リーグ戦とし、1リーグ最大4チーム1カテゴリー最大32チームとする。

＜過去大会開催例①上下カテゴリー制＞

Y1 リーグ(ガチンコ)、Y2 リーグ(フレンドリー)の2リーグ制。共にグループ別総当り戦とし、各グループ1位や2位のチームが予選通過とする。

Y1 Y2リーグは大会側で参加チーム数を確定する。

各リーグ共通で、順位決定の優先順位は(勝点が多い→得失点差が正に多い→平均年齢が高い)である。2日目は、予選通過したチームによる決勝トーナメントを行う。また、予選敗退したチームは、希望により2日目の空いた時間にフレンドリーマッチを行うことができる

＜過去大会開催例②上下カテゴリー無し＞

同カテゴリーの2リーグ制。1日目は、各カテゴリー4チームごとの予選リーグを行う。2日目は、予選順位ごとにトーナメント戦を開催する。

各リーグ共通で、順位決定の優先順位は(勝点が多い→得失点差が正に多い→平均年齢が高い)である。

トーナメント戦は、勝ち残りで開催。

◇競技規則

試合は、日本サッカー協会の競技規則に従って行う。ただし、本大会はYEGとして健全な交流と親睦を尊重し、またケガによるYEG活動や企業経営などの停滞を確実に回避するため、以下の大会特別ルールを追加する。なお、これらの特別ルールを守れなかった場合、審判および大会実行委員会で判断し、実行することができる。

＜YEG全国サッカー大会特別ルール＞

1. サッカー専用シューズを着用すること。(フットサル用でも可とする)
2. シンガード(すねあて)を着用すること。
3. めがねの着用は禁止とする。(スポーツめがね等、安全であると判断できるものは除く)
4. 指輪・腕時計・ネックレス等の装飾品の着用を禁止する。
5. タトゥー等は見えないようにアンダーウェア等で配慮すること。配慮ができてなかった場合、退場とする。
6. 怪我をする恐れのある危険なタックルは、反則とする。
7. 正当であってもスライディングタックルは反則とする。
8. 審判・選手に対する暴言等、目に余る行為があった場合、主審および実行委員会の判断により退場とする。

9. キーパーとの無理な接触は、危険行為とみなし、反則とする。

※通常の試合では、危険なスライディングタックルがファウルになりますが、YEG全国サッカー大会では、安全を期するための特別ルールとして、相手選手の近くでスライディングタックルをした時点でファウルとする。また、対人に関係ないプレーで危険と思われな部分に関してはその限りではないと判断する。例えば単独でボールを追いかけてラインアウトしそうなボールを保持するためにスライディングになってしまった等。判断基準は対人であるかないかによる。(ペナルティーエリア内の守備側のボールにチャレンジするシュートブロックの為にFIFA ルールによるファールでないスライディング及びキーパーのセービングの為にFIFA ルールによるファールでないスライディングは除く。)

10. 試合時間については、ハーフタイムを除き、1試合20～30分程度とする。試合開始終了は審判の指示に従う。その他の競技は大会側で決めることができる。

11. 試合中の選手交代は、人数に制限はない。

12. 一試合の中で再出場は可能とする。なお、交代は、主審の合図により行う。

※試合開始前に登録用紙を提出する。選手交代の際は、第4審判の確認においてグラウンドのセンター脇に準備をし、アウトオブプレーにて主審の確認を得て交代を許可するものとする。(第4審判がいない場合は本部要員が変わり選手チェックを行うものとする)

◇出場資格

<チームについて>

全国いずれかの商工会議所青年部に所属している単会、県青連等の連合チームとする。加えて、試合日程2日間に参加できるチームとする。なお、自己都合により2日目に参加できない場合は、事前に通知することとする。

<選手について>

全国いずれかの商工会議所青年部に所属しているメンバー、OB・OGメンバーおよび会議所職員とする。出場資格の確認方法等はYEGサッカー協会及び大会実行委員会が協議の上、決定する。

過去にプロ登録(J1・J2・J3・JFL等、インターネット等で名前が載っている選手)があるメンバーは引退後5年後からの登録とする。ただし、事業所の代表者であれば、その限りではない。

※出場資格に該当しない選手が出場した場合はチームを失格としキャプテン会議に於いて公表する。

◇ユニフォーム

ユニフォームの色はシャツ、パンツ、ソックスの主たる色が同色であることが原則とする。

◇ユニフォームの選手番号

ユニフォームには、選手番号(背番号)があることが望ましい。選手番号(背番号)のないユニフォームを着用する場合には、ビブスを着用し、選手が特定できるようにすること。

◇フィールド内のチーム要員

1. フィールド上に用意されたチーム用ベンチには、あらかじめエントリーされた選手およびチームスタッフが着席できる。その際、ベンチ内ではユニフォーム及び同系色は着用しない、ベンチでの喫煙は禁止する。
2. 試合中に主審により退場を命じられた選手は、ベンチ入りさせることはできない。
3. 退場を命じられたチームスタッフは、フィールド内に留まってはならず、選手等への指示を出してはならない。
4. 主審が試合を中断し、その旨の合図を出してはじめて、チーム要員2名がピッチ内に立ち入ることができる。これらの人員はすみやかに続行できるよう尽力すること。
5. 前1～4までに違反する行為は、主審により排除されるものとし、試合終了後に主審から報告を受けた大会実行委員会により処分を決定される。

◇試合の勝敗の決定

1. 前1～4までに違反する行為は、主審により排除されるものとし、試合終了後に主審から報告を受けた大会実行委員会により処分を決定される。

○試合時間内(前後半で)勝敗が決しない場合は、引き分けとする。(延長戦、PK戦はありません)

○グループ順位決定の優先順位は、「勝点が多い→得失点差が正に多い→平均年齢が高い」とする。

2. 決勝トーナメントの試合は、次に従い勝敗を決定する。

○試合時間内に勝敗が決しない場合は、ペナルティキック方式(各チーム5人ずつ、決着がつかない場合は6人目以降、チーム1人ずつ)にて次戦進出チームを決める。なお、決勝戦においても同様の方式で優勝チームを決める。

◇審判員

主審、副審については、地元サッカー協会に派遣を依頼する。

決勝トーナメントについては有資格者とする。予選リーグは、主審は有資格者とし、副審については有資格者が望ましい。

◇試合球

1. 各コートに2個のボールを用意する。
2. 試合球の内圧は 0.5～0.7 気圧(500g～700g/cm²)とする。
3. 試合球は5号球とする。

■運営について

◇日程

本大会は、1日目に予選リーグを行い、2日目に決勝トーナメント及びフレンドリーマッチを行う。

◇運営責任

試合運営にあたっては、当該実行委員会が一切の責任を負う。

◇大会の中止の決定

大会中止は、当該大会実行委員長、大会会長、YFAが協議のうえ決定する。

◇試合中止の決定

試合中止は、主審が会場責任者と協議のうえ決定する。ただし、主審が到着する前にやむを得ない事情により試合を中止する場合は、会場責任者が大会実行委員長および大会会長と協議のうえ決定する。

◇試合会場への入場

チームはキックオフの10分前までに競技場本部付近に待機すること。

◇試合への遅刻

いずれか一方のチームがキックオフの時刻に競技場本部に現れなかった場合、敗戦したものとする。ただし、やむを得ない事情で事前連絡があり、キックオフの予定時刻から10分以内に集合できる場合は、試合開始を遅らせる場合がある。

◇係員

1. 試合実施を円滑に行うため、各試合会場に次の係員をおき、必要な業務を行わせる。尚、係員は兼任しても良い。
 - 競技場本部要員
 - 記録員
2. 記録員は、所定の方法により試合記録を作成し、試合終了後、内容確認のために主審の確認を受けたのち、競技場本部に提出する。

◇試合結果の報告

競技場本部は、記録員から提出された記録の内容を、あらかじめ決められた方法により、大会本部へ連絡し、記録用紙を保管する。

◇退場処分

1. 一つの試合で、退場(レッドカード)または2回の警告(イエローカード)を受けたものは、退場処分とする。
2. 本大会で退場を受けたものは、以降の試合への出場に関して大会実行委員会が協議のうえ決定する。

◇警告(イエローカード)に関して

本大会での警告は、一つの試合中のみ累積する。したがって、一つの試合で1回の警告を受けた場合でも次の試合では、この警告は考慮しない。

◇失格(個人・チーム)

本大会において、不正または著しく商工会議所青年部の品位を貶める言動が発覚した場合には、YEGサッカー協会、大会実行委員長および大会会長が協議の上、これを決定する。

◇安全対策

1. 登録者は大会本部にて、傷害保険に加入する。
2. 保険未加入者の傷害等について主催者側は一切の責任を負わないものとする。

◇その他

1. 本運営要項に記されていない事態が発生した場合は、大会実行委員長および大会会長と協議の上事態の收拾にあたる。
2. 大会運営に関わる事項以外の事故やトラブルに関して主催者側は一切の責任を負わないものとする。
3. 大会中に組織において、大会実行委員長、大会会長に事故があった場合、大会実行委員会組織図に従い、その者がその職を代行する。
4. 同一選手の異なるチームへの重複登録は、基本禁止とする。しかし事前に申請し、YEGサッカー協会から承認を得れば可能とする。承認を得ない場合は、参加することはできない。なお、重複登録をしても、スケジュールの関係上、両チームの試合に出られない可能性もある
5. フェアプレーを心掛けること。勝負事ではあるが、YEGの仲間で行う大会であることを認識すること。フレンドリーな気持ちで試合に臨むこと。

※厳守事項

- 各サッカー会場(競技場)内の規則を遵守し、所定の場所以外での喫煙は禁止する。
- 競技場内の飲酒はこれを固く禁ずる。
- 青年経済人として常識のある行動を心がける。

<当規約に関する問い合わせ先>

YEGサッカー協会(YEG Football Association)

メールアドレス yeg.football.association@gmail.com

以上